

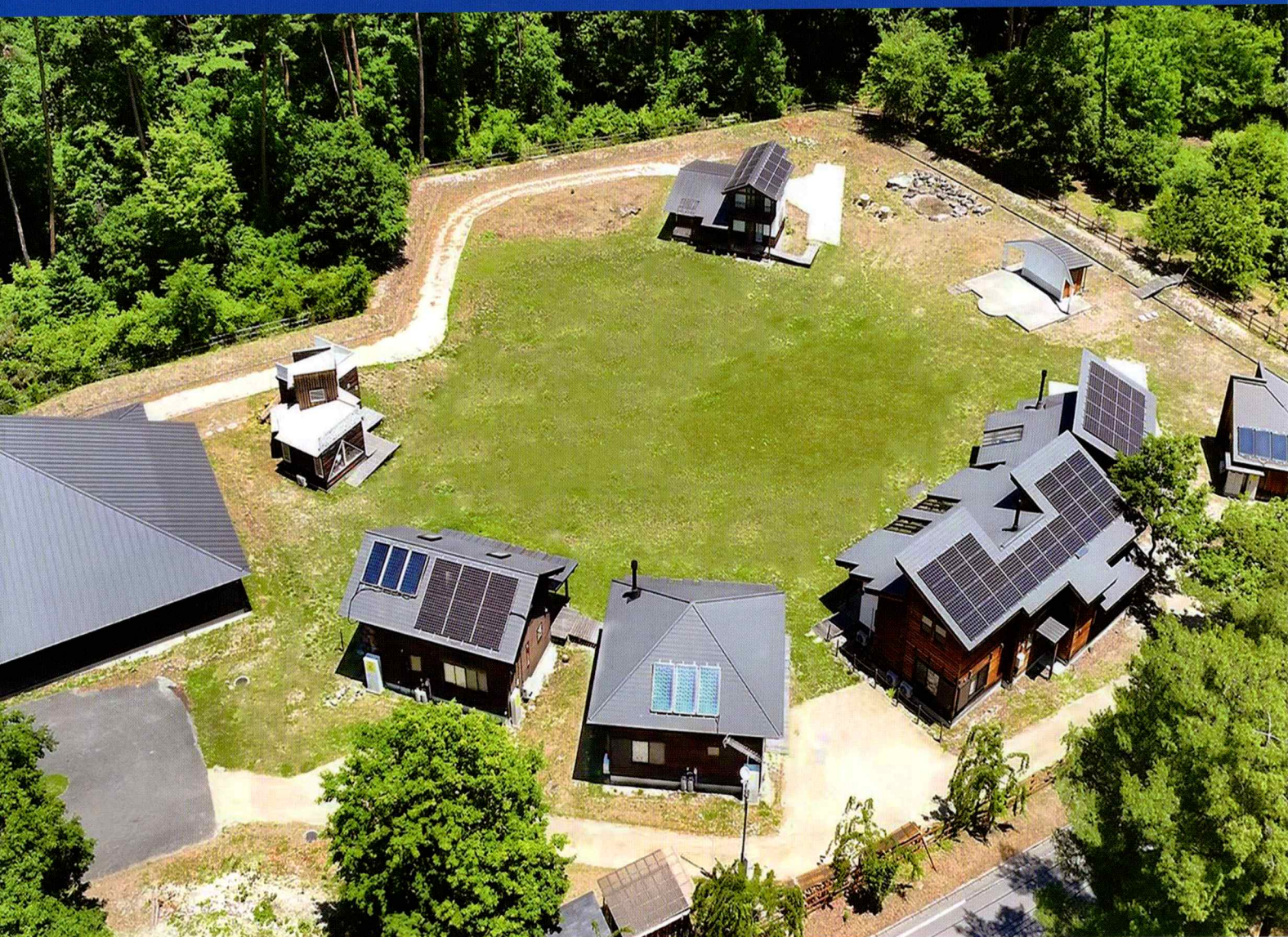
甲府一高あおぞら会 年報 2024

AOZORA

2025年3月1日発行(年1回発行) vol.10

甲府一高あおぞら会

ホームページ <https://ymkp.net/aozora/>



あおぞら共和国感謝の集い報告

甲府一高あおぞら会会長 露木和雄

会長挨拶

今年は当会設立10年の記念すべき年です。これも偏に会員皆様のご支援の賜物と思えます。会を代表し感謝いたします。昨年あった嬉しい事ふたつ。一つ目は、11月の長崎山梨県知事による「あおぞら共和国」の初訪問・視察。二つ目は、全国初となる難病の方3名の同県職員採用です。これは、従来の障害者雇用促進法による障害者手帳を持っている方の採用ではなく、それを持たない難病の方の正規採用です。この3名の方が本年4月からの配属先で先輩・同僚に愛され県民から信頼される公務員人生を送ってもらいたいと、嘗て県職員であった私は切に思います。今回の難病の方の県職員採用が先駆けとなり、全国の自治体に広がる事を祈ります。



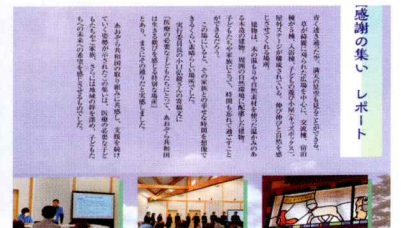
あおぞら共和国感謝の集い概要報告



2024年11月17日開催のあおぞら共和国感謝の集いには28名の方に参加いただきました。本年度の開催は3月の実行委員会で、11月の会場予約が可能な日程とし、9月7日の実行委員会で第3回あおぞら共和総会開催案内に、10月の秋のチャリティーウォークの案内も同封し、郵便・メールで発信しました。総会議事では、会計報告の中で、新しい支援の形態として、あおぞら共和国への交通費の支援を行い、イベントへの遠方からの参加者から感謝の言葉を頂き、来年度以降も実施を報告しました。清水山梨県会議員御祝辞、実行委員紹介の後、露木会長から議事進行への提案で、参加者全員から自己紹介とひとことコメントをいただきました。その後の集合写真撮影、食事・懇親会では、それをきっかけとして、話はずみ、交流棟という名にふさわしい場となりました。地元行事で多忙な、中谷衆議院議員には、イベント時間に駆けつけて挨拶頂いた後、会員の皆様と意見交換を行っていただきました。尚、準備した2024年活動紹介と「あおぞら共和国支援活動のあゆみ」紹介は時間が取れなかったため、ホームページに掲載いたしましたので、ご覧ください。歓談後、グループに分かれ、田伏委員があおぞら共和国のロッジ及び、あおぞらの森を案内し、小口委員は八ヶ岳他の晩秋の風景楽しむ約5kmのミニウォーキングをガイドしました。事務局山本はお土産買い出しをサポートしました。好天に恵まれた感謝の集いを終了いたしました。

甲府一高あおぞら会実行委員会活動報告

2024年3月9日甲府一高「一紅会春の講演会」、5月18日甲府一高同窓会、7月20日甲府一高東京同窓会にて、あおぞら共和国支援紹介/会員募集ちらし配布等の広報活動と募金を行いました。同窓会記念誌にはあおぞら共和国紹介記事を掲載していただきました。右は一紅会の受付、下の左は甲府の同窓会と記念誌、右は東京同窓会と記念誌日新鐘の記事です。



“あおぞら共和国”へのご支援ありがとうございます。

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク 専務理事 福島慎吾

“あおぞら共和国”の宿泊利用者数は、コロナ禍前の水準を超えて、過去最大規模のご利用をいただいている状況となっています。また、“あおぞら共和国”の「こども発達および療育相談室」に関する第二種社会福祉事業開始届が山梨県に受理されるなど、地元である山梨県や北杜市との関係構築が着実に進展してきたことを実感できる一年となりました。これもひとえに、甲府一高あおぞら会の皆さまをはじめとする、山梨県民・関係者の皆さまからの長年にわたるあたたかいご支援のたまものと、衷心より感謝申し上げます。これからも初心を忘れることなく、難病や慢性疾病・障害のある子どもとその家族に、いつも寄り添う活動を志してまいる所存でございます。最後に、皆さまのご健康・ご健勝を願いつつ、今後とも変わらぬご支援とご指導・ご鞭撻をたまわりたくお願い申し上げます。

あおぞら共和国でのボランティア活動紹介

草刈りボランティアは春秋の2回、一般の方に呼び掛けて、実施されています。甲府一高あおぞら会会員も参加しています。一緒に作業しませんか？

初夏の草刈りボランティア

5月24日、25日(土)実施されました。参加者は初めてのかた5名を含む、総勢33名の大人数での作業でした。宿泊した方10名でした。主な作業はあおぞらの森枯木伐採、敷地内外の植栽の剪定、草刈り、薪用材木切断、薪割り、薪棚造りでした。あおぞらの森の枯木の伐採、薪用に丸太の切り出しは熟練グループの方が中心で行われました。森から切り出した丸太はエンジン機薪割りで割り、薪棚に積みました。また先に作った薪棚の補強と、新たに薪棚の増設も行いました。敷地周辺に植えられた樹木の剪定(路、電線に係る枝の伐採、)伸びすぎた枝の伐採等、樹形を整える剪定も行いました。25日は機械刈、手刈りに分かれて草刈を行い、刈った草を集積場に運びました。来年(2025年)の初夏の草刈りは5月30日(土)・31日(日)実施の予定です。1日のみ、宿泊して2日間いずれのご参加もOKです。お申込み: aozora@nanbyonet.or.jp までボランティア保険に加入いただきます。(350円)が翌年3月末まで全てのボランティア活動に有効です。



秋の草刈りボランティア:

メインは9月19日、20日でしたが、先行してあおぞらの森の蜂の巣駆除、サントリーさんに合流して薪作りが18日に行われました。19日、森づくりグループは枯木伐採等整備を実施、他のグループは敷地周辺の草刈り、樹木の剪定、道に張り出したコナラの枝を木に登って伐採を行いました。作業終了後、つたの湯で汗を流し、宿泊していた方も交えて夕食&懇親会となりました。20日は初参加の山梨の保育士、甲府一高あおぞら会メンバーが加わり、今回のメインイベント、芝刈り機が故障の為伸び放題だった芝生広場の総がかりでの草刈りを行いました。刈った草を集めて軽トラックと一輪車で集積場に運び、午前中でほぼ終了しました。合計参加者は20名でした。



あおぞら共和国 での「子供発達および療育相談室」開始

難病ネットでは、子どもについて困っていること、他の子に比べて遅れていないだろうか、相談できるひとがいない、同病の子の親と知り合いたいなどの悩みに対し、無料で相談に対応しています。

あおぞら共和国でもこども発達及び療育相談室を開始しました。

☆電話対応：月～金午前11時～午後3時 TEL：0551-30-9272

☆対面による相談……予約での対応

小児科医による相談：隔週金or 土曜日

相談員による相談：隔週木曜日13時～15時

申し込み先：aozora@nanbyonet.or.jp



写真左 小口相談員：難病ネット理事・甲府一高あおぞら会実行委員

右 青柳相談員：甲府一高あおぞら会会員

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク主催あおぞら共和国イベント

春のウォーキング

4月20日(土)何時もの、JR 日野春駅～水車の里公園(休憩・昼食)～台ヶ原宿場(七賢酒蔵/金精軒休憩)～あおぞら共和国までの12kmのコースで開催されました。参加者は30名でした。日野春駅前では上村北杜市長(当時)から完歩へのエールをいただきました。あおぞらのもとに甲斐駒ヶ岳、満開の八重桜、芽吹いた新緑の中を歩きました。甲府一高あおぞら会では、医療サポートと送迎/伴走車の支援を行いました。来年(2025年)の春のウォークは3月29日(土)開催の予定です。



秋のウォーキング

10月5日秋のウォーキングが開催されました。今回のコースはいつもと変えて、あおぞら共和国からスタートし、旧甲州街道を下り、ほたる親水公園、台ヶ原宿から、道の駅はくしゅうにより、駒ヶ岳広域農道を歩いてあおぞら共和国に戻る約10kmのコースで行われました。当日は地元北杜市白州町内の子どもたちを対象とした「わんぱく大行進」(ゴールがあおぞら共和国)が予定されていましたが、雨の予報のため中止となっしまい、期待していた地元の子どもたちとの交流が残念ながらできま



せんでした。天気は午前中、何とか時々小雨程度でしたが、最後残り1kmは雨具完全装備で本降の歩行となりましたがアンカーのムウちゃんは元気にゴールしました。昼食はホテル親水公園の予定でしたが、七賢・金精軒で買い物・小休止の後、道の駅はくしゅうで昼食となりました。甲府一高あおぞら会では医療サポートと車での巡回サポート要員として支援しました。



第4回“たくさんイベント”とその支援紹介

認定NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク & 甲府一高あおぞら会 田伏純子

2024年3月8、9、10日、あおぞら共和国にて第4回“たくさんイベント”が開催されました。前回来られなかった、おーきな輪(沖縄)、阿蘇ぼう(九州)、みちのく七夕(東北)からも参加して欲しく、参加のネックになっている交通費の問題の相談を受けましたので、甲府一高あおぞら会から、一人3万円とし、6家族(合計31万円)の支援ご行いました。イベントの様子は、以下に掲載します沖縄・九州・愛知・神奈川と遠くから難病のご家族が参加されました。地元の方々の参加もあり、良い天気の中、たくさんさんのプログラムを楽しんでいただきました!沖縄のご家族にとって、初めての雪!雪だるまを作って、雪遊びをしました。お天気や風が心配でしたが、星空観察も気球体験も無事に終えることができました。寒い中、温かくて美味しい、ほうとうがとても心にしみわたりました。



★参加者の声 交通費支援お礼メール 九州 大島さん 今回、参加するにあたり交通費の一部が支援されると伺い、それなら絶対に行かなきゃ!と、この交通費支援が参加する大きな決め手となりました。支援金は、甲府一高あおぞら会からのご支援だと伺った時は大変驚き、えっ!凄い!なんて素敵な活動をしている会なんやろう!と、とても感動し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。あおぞら共和国では、ロジや景色、夜空の素晴らしさ、滞在中の全てに感動しましたが、これは行ってみたいとわかりません。台ヶ原のお買い物のお店や小淵沢駅から見えるパノラマの景色も最高に素敵で富士山はとても感動しました。次は支援金なしでも、あおぞら共和国に行きたい!と思っております。甲府一高あおぞら会のとても素晴らしいご活動を通して、あおぞら共和国の素晴らしさが多くのご家族に伝わって行く事を願っています。ご縁に感謝いたします。

★参加者の声 交通費支援お礼メール 沖縄 安慶名さん たくさんイベントの際は大変お世話になりました。昨日は宮城先生へお土産のほうとうを持って山梨での出来事の報告をして参りました。先週の今頃は山梨県にいたのかあ〜とまだまだ旅の余韻から抜け出せなくて山梨での体験を名残り惜しんでいます。この三日間を一緒に過ごさせて頂いたスタッフの皆様、他の家族の皆様には言葉では伝え切れない程の感謝の気持ちでいっぱいです。沖縄からの私たちは皆人生初の雪※更に雪だるま作り、参加決定から楽しみにしていた気球体験、初の暖炉にほうとうと、夢のような3日間でした(*^o^*)

Information- あおぞら共和国関連の出版物の紹介(小口クリニック文庫)

甲府一高あおぞら会HPより掲載電子書籍が閲覧できます。
https://ymkp.net/aozora/publishing_2.html →



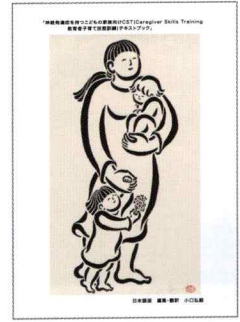
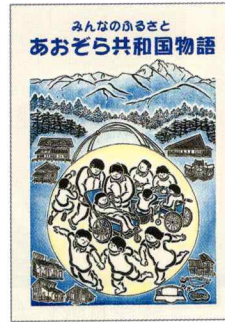
あおぞら共和国物語

みんなのふるさと夢プロジェクト10周年に、発起人小口医師が編集・出版した、あおぞら共和国建設の経緯を紹介する本

神経発達症を持つこどもの家族向けCSTテキストブック

CST=(Caregiver Skills Training)

発達障害の子どもの生育支援 WHO 2022年発行 編集・翻訳 小口弘毅



あおぞら共和国のまわりの自然 入笠山 1955m

標高1955mですが、あおぞら共和国から国道20号経由、車で約25分、ゴンドラ山麓駅に行き、1780mの山頂駅から山頂まで約1時間の歩行で到着します。富士山、南/中央/北アルプス/八ヶ岳山の大パノラマ展望を初心者でも手軽に胆嚢できます。

<https://www.fujimipanorama.com/summer/trekking/>



あおぞら共和国のご利用方法

あおぞら共和国の利用方法については、難病のこども支援全国ネットワークの「あおぞら共和国」専用のサイトよりトップページの「利用する」ボタンをクリックして、申し込み方法をご覧ください。<https://www.aozorakk.com/>

ご利用いただける方は、

- ① 難病や障害のある子どもとその家族
- ② ①の関係者や支援者
- ③ 難病ネット会員(正会員・賛助会員・購読会員)となっております。甲府一高あおぞら会会員は支援する団体員ですので、空きが有れば利用できます。



あおぞら共和国 所在地:山梨県北杜市白州町鳥原2913-134

電車でお越しの方:JR中央本線「小淵沢駅」よりタクシーで約12分 自動車でお越しの方:中央自動車道「小淵沢IC」より車で約15分

Q&A 皆様からの質問と回答

Q あおぞら共和国のお風呂棟の利用が再開されたようですが、利用方法を教えてください

A 利用は難病の方(障害をお持ちの方)、そのご家族、介助者に限りご利用いただけます。営業日程を確認し、宿泊の前日までに予約制してください。男女別の利用時間となっています。

あおぞら共和国近くの『みどころ・あじどころ』 その9(毎号連載)

道の駅 信州蔦木宿

蔦木宿は、甲州街道43番目の宿場町として、江戸時代に栄えたところ。街道開通から390年を経て、ここ信州の玄関口に、道の駅「信州蔦木宿」として往時の賑わいが甦りました。宿場風の落ち着いた建物と天然温泉「つたの湯」は、旅癒しの場として好評です。また、そばなどの食事処、お土産、地元物産の直売所など多彩な施設が揃う道の駅となっております。



長野県諏訪郡富士見町落合1984-1
TEL.0266-61-8222 FAX.0266-6

<http://www.tsutakijuku.jp/>

2024年甲府一高あおぞら会の会務報告

1、活動報告 事務局 山本秀彦 (2024年1月1日~12月31日)

- ◆ 3月末の年報AOZORAの発送で、2024年の活動を開始しました。あおぞら共和国での活動、イベントへの参加・支援は個人の判断で対応としました。甲府、東京の同窓会では広報活動を行いました。実行委員会の開催は3回。
- ◆ 感謝の集い(2p参照)・総会の開催2024年11月17日(日)。
あおぞら共和国交流棟に、28名が参加し、あおぞら共和国感謝の集いを開催することが出来ました。
総会では2025、2026年の役員体制を説明し、正副会長の承認を頂きました。詳細はホームページを参照してください。

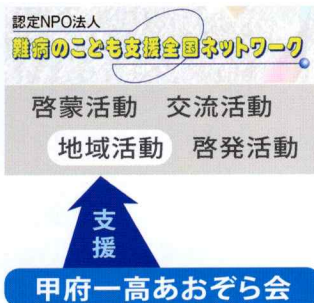
2、会計報告 会計 田伏純子 (会計期間は、2024年1月1日~12月31日 ここでは12月22日での概算、詳細はホームページに掲載)

- 1) 収入 = 合計1,725,209円 会費 = 1,011,000円 会員数438名(会費納入者は337名)
寄付金 = 714,209円 イベントでの寄付金,会員の皆様からの個別の寄付金
- 2) 支出 = 合計121,583円 事務費、支払い手数料、通信費、輸送費、広報費
- 3) 支援金 = 1,603,626円 収入より、支出を差し引いた金額をあおぞら共和国への支援金として“夢”プロジェクト宛に振込いたします。なお、310,000円はたくさんイベント参加支援として、すでに振り込みました。

2015年~2023年の支援金累計額は 16,974,153円となっています。

3、甲府一高あおぞら会のあおぞら共和国支援と難病ネット活動について

- ◆ 難病のこども支援全国ネットワーク(以下難病ネットと略記)の仕事 難病ネットの活動は
1. 電話相談や遺伝特別相談、ピアサポートなどの相談活動 2. 岩手から沖縄まで全国7か所でのサマーキャンプ“がんばれ共和国”建国、親の会連絡会、サンタクロースの病院訪問などの、交流活動 3. 子どもの難病シンポジウムや病弱教育セミナー、自立支援員研修会などの啓発活動 4. あおぞら共和国をはじめ積極的な地域活動を行っています。
<https://www.nanbyonet.or.jp/> あおぞら共和国専用サイト <https://www.aozorakk.com/>
- ◆ 甲府一高あおぞら会は、上記難病ネットの4つの大きな活動の内、地域活動の「あおぞら共和国」の構築、運営、維持の支援を行っています。



会費納入(会員の更新)と、本会の紹介及び支援のお願い

- ◆ 会費納入先: ゆうちょ銀行 口座名: 甲府一高あおぞら会 口座番号 001 10-9-323825
年報に同封したゆうちょ銀行の赤色振込用紙(料金加入者負担)で会費納入(会員継続)をお願いします。その他の振込方法は振込手数料は自己負担となりますが、ホームページをご参照の上よろしく願いいたします。
https://ymkp.Net/aozora/kaihi_nonyu.html
- ◆ 甲府一高同窓生に限らず、一般の方もご入会いただけます。事務局へ連絡ください。
- ◆ 「あおぞら共和国」への支援は各種の方法で (https://ymkp.net/aozora/aozora_sien1.html)
 1. ゆうちょ銀行会費振込用紙で会費と寄付金を同時に納入頂く場合は、印刷された3,000円に取消線を引き、押印し、合計金額を上空欄部分に記載してください。その場合通信欄に明細(会費3,000円、寄付¥¥¥円)を記入してください。
 2. 認定NPO法人「難病のこども支援全国ネットワーク」の会員となってください。
 3. 個人名での随時寄付は、ゆうちょ銀行加入者名: みんなのふるさと夢プロジェクト口座へ振り込み

事務局よりのお願い

あおぞら共和国でのイベントは、ホームページ、Facebook に掲載しております。会員の皆様へ事務局からの連絡の郵送料は郵便料金の大幅値で増大しました。低コストで簡単にクタイムリーなネットによる対応とするため、メールアドレス登録にご協力をお願いいたします。スマホのメールアドレスを登録いただいている皆様は、甲府一高あおぞら会からのメールアドレスを受信可能とする設定をお願いします。スマホの初期設定は「パソコンなどのメール受信設定」が「受信しない」となっている場合が多く、事務局からのメールが着信拒否となり届きません。スマホのメールアドレスをご利用の方は、aozora@ymkp.netを受信許可する設定としてください。事務局からのメールをスマホで受け取る様な設定に、ご協力をお願いいたします。

楽しいボランティア活動

甲府一高あおぞら会副会長 軽石泰孝

2013年の東京同窓会当番幹事を担当した際に、一紅会講演会で小口先生(昭和45年卒)に「子ども達に活かされて～共に歩む小児科医の夢～」をテーマに講演をして頂きました。その事がきっかけで「甲府一高あおぞら会」結成時からお手伝いをしています。

「甲府一高あおぞら会」もボランティア活動の一つですが、私は地域密着型のボランティア活動にも参加しています。その会は、江戸川区の「葛西さざなみ会」(以下、さざなみ会)といいます。私の住まいは葛飾区ですが、ご縁があってこの会に20年前から参加させて頂いています。今回は「さざなみ会」の活動紹介をしたいと思います。「さざなみ会」は、子供たちに向けた活動が主体です。地域のお祭りやスポーツイベントなどで、「たこ焼き」を焼いたり「お餅」や「赤飯」を作って格安で販売したりします。また、江戸川区から土地を借りて「みんなの田んぼ」と名付けた田んぼで、近隣の小学生に授業の一環として田植えと稲刈りを経験してもらったり、その田んぼの管理と世話をしています。稲刈り後には「収穫祭」と称して、餅つきをして「お雑煮」を子供たちに振舞っています。さらに、冬にはかつて葛西地区で盛んに作られていた「海苔」作りを、小学校の授業として「海苔すき」の歴史の話と実演をし、体験をしてもらっています。

この様な活動が評価され、過去に地域の活性化活動に対して「総務大臣賞」を、「みんなの田んぼ」の活動に対して「国土交通大臣賞」を、それぞれ頂きました。

私にとって「さざなみ会」の活動も「甲府一高あおぞら会」の活動も、ボランティア活動をやっているという感覚ではなく、活動自体が楽しいから続いているし、これからも続けて行きたいと思っています。



甲府一高あおぞら会 実行委員

2024年12月31日現在の甲府一高あおぞら会の実行委員は以下のメンバーです。(数字は甲府一高卒業年、Sは昭和、Hは平成です。) 実行委員を広く募集しています。山梨在住の方、50歳未満の方大歓迎です。

- | | | | | | |
|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|----------------|
|
会長 露木和雄 (S45) |
副会長 軽石泰孝 (S50) |
事務局 山本秀彦 (S41) |
会計 田伏純子 (S44) |
監事 谷口百合子 (S36) | |
|
宇野由美子 (S40) |
雨宮俊彦 (S45) |
小口弘毅 (S45) |
飯沼温子 (S45) |
小口博 (S47) |
保延義仁 (S50) |
|
斎木裕子 (S50) |
高橋久 (S51) |
青柳均 (S51) |
岡 亜佐子 (S59) |
上松裕之 (H3) |
保坂香子 (H3) |

編集・発行・お問い合わせ

甲府一高あおぞら会 ホームページ: <https://ymkp.net/aozora/> 事務局mail: aozora@ymkp.net

ホームページとフェイスブック

入会のお申し込み以外にも、活動の様子、草刈りボランティアやイベントなどの日程や詳細は、ホームページとフェイスブックにてお知らせしています。チェックしていただき、活動にぜひご参加ください。



← ホームページ